

## 2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	空間研究小委員会		主 査 名：西出 和彦 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会		委員長名：服部 峯生 主 査 名：
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2006 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築・都市空間に関する研究にあたって、様々な調査方法や分析方法の有効性や可能性について広く他研究分野と比較を行いながら検討する。さらに、各種の空間やそれらに関連する事象を取り上げて、その意味について議論することを目的に、幅広い分野から講師を招き、研究会やシンポジウムを行う。</li> <li>・ 蓄積された活動や議論の成果を出版物として刊行して学会員に広く公表する。</li> </ul>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： 2 名 主査：西出和彦(東京大学) 幹事：郷田桃代(東京電機大学) 橋本雅好(椋山女学園大学) 委員：大佛俊泰(東京工業大学) 金子友美(昭和女子大学) 北川啓介(名古屋工業大学) 佐野友紀(早稲田大学) 恒松良純(秋田工業高等専門学校) 積田洋(東京電機大学) 那須聖(札幌市立高等専門学校) 橋本都子(千葉工業大学) 日色真帆(愛知淑徳大学) 樋村恭一(東京大学) 松本直司(名古屋工業大学) 横田隆司(大阪大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	シンポジウム WG 空間研究小委員会主催のシンポジウム企画のため 出版 WG 空間研究をテーマとした出版物刊行のため		
2005 年度予算	249,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料 等は除く)	1. 『建築・都市計画のための空間学事典 改訂版』(井上書院)
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セ ミナー・研究会・見 学会等)	1. 4 月・第 57 回研究会「映像による空間表現からの建築の可能性」 同時に、同会場にて 2 日間にわたる展覧会を開催した。参加者数 78 名 (資料名)映像による空間表現からの建築の可能性 2. 5 月・第 58 回研究会「ヘンリー・サノフ氏講演会『デザインにおけるプ ログラミング、評価、参加の統合』」参加者数 96 名 3. 11 月・第 59 回研究会「幼児保育施設における『環境と空間』」参加者数 65 名 (資料名)幼児保育施設における『環境と空間』 4. 7 月、9 月、3 月(予定)に、3 回のミニ研究会を実施し、空間研究分野の 若手研究者による研究発表の場を設けて意見交換を行った。

大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	1 . 建築雑誌「今 伝えたいトピックスー今あらためて天井高について考える（2005年4月号 p.44 Vol.120 No.1532）」
目標の達成度 （当初の活動計画と得られた成果との関係）	1 . 建築・都市空間に関する研究における方法論の可能性を探ること、また、各種の空間の意味を議論することを目的として、3回のシンポジウムを開催し、国内および海外の建築家や研究者を多数招いて、討議した。 2 . 出版物『建築・都市計画のための空間学事典』を刊行し、成果を公表した。
委員会活動の問題点・課題	1 . 設置目的は十分に達成されていると考えるが、今後の建築計画研究の新しい方向を切り開くような新しい調査・分析方法の開拓が今後の課題である。

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。